

グローバル監査人養成セミナー

～ 海外子会社監査・腐敗防止・グローバルな内部統制と
異文化理解の実効性向上に向けて ～

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2016年 2月 22日(月) 10:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

【開催にあたって】

『国連』という特定の国の法律やビジネス慣行だけでは乗り切れない組織で勤務経験のある講師が、実際に体験した様々な問題、解決に向けた交渉などの実体験を交えつつ、『グローバル監査人』として何を大切に見据え対応すべきかについて、解説致します。

講師 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村智恵 氏

早大卒。米国MBA修了。国連勤務にて国連内部監査業務専門官、国連戦略立案専門官、リーダーなどを担当。民間企業役員として監査統括や、上場IT企業JFEシステムズのアドバイザー、経営行動科学学会理事、JA長野中央会顧問、日本監査役協会の全体会パネリストなどを歴任。NHK「クローズアップ現代」TV出演や著書29冊など産官学を通じて幅広く活動中。講師プロフィール詳細は <http://www.jmri.co.jp/> にて。



【申込書送付先】 FAX▶03-5215-0951 ※当会HPからもお申し込み頂けます。企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・昼食代含) ※申込書をご送付いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

| | | | |
|-----|-----------------------|----|-----------------------|
| 正会員 | 37,800円(本体価格 35,000円) | 一般 | 41,040円(本体価格 38,000円) |
|-----|-----------------------|----|-----------------------|

| | |
|----------------------------|------------|
| 151801-0202 グローバル監査人養成セミナー | |
| ふりがな 会社名 | |
| 住所 | |
| TEL | FAX |
| ふりがな ご氏名 | 所 属 役 職 |
| E-mail | |

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail: kawamorita@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

【プログラム】

1. 海外子会社等の問題事例の考察とグローバル監査人としての課題

- (1) 日本で育った日本人の常識を携えた人材は海外拠点で本当に実効性ある対応ができているのか?
 - (2) 鍵を握るのは語学力より胆力・適応力・調整力
 - (3) 企業が直面する様々な経営リスク一覧
 - (4) グローバル化する不祥事・リスク管理対策の国際社会的な要請
 - (5) グローバルな事業継続対応の必要性(事故・事件・政変・テロ・政治リスクなどへの対応など)
 - (6) 海外不祥事例からみた日本本社・役員・幹部などの課題と対策
 - (7) 細則主義型監査から原則主義型グローバル監査対応への転換と課題・対応
 - (8) コーポレートガバナンスコードにおける企業統治のグローバル化と各海外拠点での対応ポイント
 - (9) グローバル監査人として求められる素養・スキル・ノウハウ 等
- ワークショップ (・アイスブレイク・グローバル監査トーク/・悩ましい課題の共通理解と検討/・あなたなら同僚監査人や他社監査人にどんなアドバイスをしますか? 等)

2. 現地業法や倫理観の衝突リスクへの対応

- (1) 日本本社の策定したコンプライアンス施策は全世界共通に有効か?
 - (2) 日本での「ゼロ・トレランス」と海外拠点での「許容範囲」
 - (3) 「ティー・マネー」や商習慣・慣行と収賄・海外での腐敗防止の観念
 - (4) 日本本社の常識が通用しないグローバル環境下での「倫理観の衝突リスク」(CRE): アジア・欧州・米国・中東等
 - (5) 「真実は揺れ動きながら存在する」という理解と対応
 - (6) 日本本社を中心にした国連のようなグローバル監査コミティ設置策
 - (7) グローバル・ミッション・ステートメント策定による各国拠点の参画意識向上と調整機能
 - (8) 現地業法とのバッティングなどに備えた監査対応
・「ソフト・ロー的ミッション経営」によるグローバル対応の要点
 - (9) 現地監査人や現地専門家との連携 等
- ワークショップ (・国際化における多様なリスクの把握と対策/・監査人が思う本音と実務上の課題の考察/・事例ディスカッションで学ぶ国際的監査の現状 等)

3. グローバル監査人必須の知見・スキル・ノウハウ

- (1) ダイバーシティというリスク要因
 - (2) 人権・ダイバーシティ経営・LGBT(性的マイノリティー)対応の要点
 - (3) 「ベクトル・ガードレール・アプローチ」による懐深い経営と対応
 - (4) 国連グローバルコンパクト(UNGC)における世界共通の経営10原則
・人権・労働・環境・腐敗防止における各要点とグローバルCSR経営
 - (5) 公益通報で早期発見・早期是正するグローバルホットラインの運用ポイント、
米国ドッド・フランク法での公益通報など
 - (6) あなたの論理的思考の前提が偏っていて国際的に誤った帰結を論理的に導いていないか?
 - (7) 「価値フリー」で現場をまっさらの状態で見据える監査姿勢
 - (8) 異文化理解と組織文化のポイント 等
- ワークショップ (・「7つの文化尺度」による監査上の3つの留意点と異文化理解の「3Rの原則」に沿った相手の認識・尊重・解決のアプローチ/・違和感を大切にするリスク感度の強化・実務対応のポイント/・事例ディスカッションで学ぶ監査における異文化理解・異文化適応 等)

※最新動向や社会状況に応じて、上記項目は適宜改訂・修正させて頂く可能性がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。